

甚大な災害に対応した改良 工事で早期復旧を

きょうじん 強靱な町づくりで事前防災 をしていく



児玉 孝徳 議員

7月豪雨や台風災害などの早期復旧と、地球温暖化による今後の甚大な災害に対し、現状復旧でなく、想定外の災害に対応できる改良工事は出来ないか。

国・県と一体となり早期 対策を要望し取り組む

町長

河床の浚渫（しゅんせつ）や堤防の強化、排水対策、土砂災害対策を、国・県と一体となり早期対策の要望や補助事業の採択に向け尽力し最善策を検討し進めていく。
強靱なまちづくりとして改良復旧の考えで、事前防災を加速していく。



7月豪雨による堤防崩落

熱中症への対策はどうか

児玉議員

温暖化で熱中症の危険度が増し、夜中に具合の悪くなる方が大勢いると聞き、自宅や避難所での本町の対応はどうか。

エアコン使用を周知する

町長

節約することなくエアコンを使い、ないところは扇風機の使用や換気、こまめな水分補給など自らの命を守る周知を行う。避難所では発電機と大型扇風機で対応している。

避難時の情報提供は適切か

児玉議員

7月豪雨や台風10号の災害時に避難情報や避難された方への情報提供は適切だったか。

防災行政無線やSNSを 活用している

町長

防災行政無線やSNSを活用し、必要に応じ消防団に警戒巡視活動の協力を得て、正確かつ迅速に情報が伝えられるよう努めている。避難所の情報を適宜知らせ、安全に帰るタイミングも伝えられるよう協議していく。

避難所に停電時でも使える ガスエアコンの導入を

児玉議員

避難所が大規模災害により停電でも使用できるガスエアコンと災害対応型バルクは燃料備蓄の推進事業補助金の対象だが、避難所へ導入できないか。

費用対効果などを判断する

町長

大規模災害時に役立つと感じているが、近隣市町での普及状況を踏まえ、使用頻度・費用対効果など総合的に検証し判断する。

公共施設に自動手洗水栓を

児玉議員

感染予防と節水対策のために、学校や公共施設などへ手洗いの自動水栓を設置できないか。



手をかざすと水が出てくる水栓

必要な設置場所を検討する

町長

各施設の利用率を調査し、感染防止対策上必要な設置場所を特定し、老朽化などにより改修する場合は検討していく。

コロナでのいじめはないか

児玉議員

新型コロナウイルスに関する児童・生徒、特に医療従事者の子どもへの差別発言などのいじめはないか。

いじめの報告はない

教育長

本町ではいじめの報告はない。文書で差別や偏見等が起きない

よう環境整備や指導を各学校と保護者に通知している。いじめが起きた場合は行動の不適切さに気づかせ、正しい理解を指導するようにしている。

休校に伴う学習の遅れは

児玉議員

児童・生徒の休校に伴う学習の遅れはないか。休校しなければならなくなった場合の対策はできているのか。

また、町内の全児童・生徒にタブレットを貸し与えオンライン授業ができるようになるという事であるが、全ての先生方の研修は十分にできているのか。

全学校対策し遅れはない

教育長

夏休みや行事を短縮し、1日の授業時数を増すなどの対策で授業の遅れはない。休校となった場合は各学校予備時数が50〜60時間あり、対応できると考えている。

夏休みにアドバイザーの情報教育研修課や付属小の先生により、タブレットの研修を行った。今後は月に2回ぐらいオンラインによる研修を進めたい。

*災害対応型バルクとは煮炊き釜、コンロ、暖房機器、発電機などを安全かつ迅速に使うことを目的として開発されたシステム